

元気な体をつくらう！ 伊自良保育園で幼児育成プログラム



2月24日、伊自良保育園で、スポーツ運動好きな幼児育成プログラム展開事業として、運動能力測定と運動遊びが行われました。

この事業は運動遊びを通じて楽しく体を動かすことで、健全な心と体を育て、非認知能力を向上させることを目的として岐阜県スポーツ協会が実施しているものです。

当日は幅跳びやボール投げ、25メートル走などの運動能力測定を行った後、運動遊びを活用したジャンプ運動や追いかけてで楽しく体を動かしました。

大桑小児童がマロンパークで 栗の苗木植え体験

2月28日、おおが城山公園の近くにあるマロンパークで、大桑小学校3、4年生児童15人が栗の苗木植えを体験しました。

今回植えたのは、利平栗・ぼろたん栗・銀寄栗の3品種です。農事組合法人おおがやJAぎぶの協力のもと、児童は2〜3人一組で、根の上に土をかけた後、根元を優しく踏み固めて植える体験をしました。

児童たちは「根っこが出ないように植えるのが難しかった」「栗の種類ごとに木の形が違ってびっくりした」と話しました。



市重要無形民俗文化財 舞台公演会&体験会



3月5日、美山中央公民館で、山県市重要無形民俗文化財の舞台公演会と体験会を開催し、約100人が来場しました。

当日は葛原太鼓踊りや柿野獅子神楽、北山雨乞い太鼓・雨乞い踊り、伊自良十六拍子が披露された他、立華の解説とロビーでの展示が行われました。

公演後は民俗芸能体験会も開催され、参加者は実際に太鼓を鳴らしたり、龍を操ったりするなど、貴重な体験をしました。

新規開発した ふるさと名物を披露

3月8日、(株)伊藤製材所と梅田建設(株)が新たに開発したふるさと名物を披露するため、市長を訪問しました。

今回開発されたのは、伊藤製材所による美山杉を使ったデザインテーブルと、梅田建設によるさつまいもを使ったOmmy(オイミー)ソフト他二つのスイーツです。いずれも市ふるさと名物開発応援補助金を活用して開発されました。

伊藤製材所の伊藤嘉秀さんは「美山杉の美しい木目を楽しんでほしい」と話しました。



園児と一緒に大きくなあれ みやま保育園で植樹式開催



3月9日、岐阜北ライオンズクラブからみやま保育園にカエデとモミジの木2本の寄贈があり、植樹式を行いました。

この2本の木はカブトムシなどの昆虫が集まりやすい木であり、園児が自然や昆虫とふれ合えるようにとの思いから寄贈いただきました。

植樹式では、園児がスコップで木の根元に土をかけ植樹を体験した後、お礼の歌として「ありがとつの花」を披露しました。

園児は「虫さんがいっぱい来るのが楽しみ」とわくわくした表情で話しました。

弾道ミサイルを想定した 避難訓練を実施

3月10日、美山中央公民館で、岐阜県が主となり、山県市と合同で、弾道ミサイルが発射された際の避難行動について理解を深めてもらうことを目的に、訓練が実施されました。当日は、NPO法人ボランティアアサポートセンター会員や自治会連合会など、約30人が訓練に参加しました。

参加者は、県職員からミサイル発射時の伝達手段などの説明を受けた後、市職員の誘導のもと、屋外からの避難行動や屋内へ避難した後の行動を実践しました。



4年ぶりの開催 やまがたジョギング大会



3月11日、四国山香りの森公園と鳥羽川サイクリングロードで、山県市体育協会主催の第18回やまがたジョギング大会が開催されました。

当日は、快晴の中、ロードレース10部門、ジョギング・ウォーキングの部に、市内外から約500人が参加しました。

4年ぶりの開催となった本大会は、子どもから大人まで多くの笑顔であふれました。ジョギングでは楽しく走る姿、ロードレースでは上位を目指して走る姿が見られ、大いに盛り上がりました。

山県市手話言語条例 成立記念セレモニー

3月13日、議場で、山県市手話言語条例成立記念セレモニーを行いました。

この条例は、言語としての手話の理解や障がいのある人に対する理解の促進と、地域社会全体における手話の普及を図ることを目的としています。

(一社)岐阜県聴覚障害者協会会長の水野義弘さんは「条例成立をうれしく思う。聴こえる人と聴こえない人の、本当の意味での共生社会へつながることを願う」と手話で伝えました。



大桑小児童が 初めてのそば打ち体験



3月14日、大桑小学校3、4年生児童15人が、大桑地区で採れたソバの実を使用してそば打ちを体験しました。

今回は農事組合法人おおがの協力のもと、3〜4人一組で生地をこねて延ばし、細く切つてゆでる工程を学びました。最後には自分たちで作ったそばを味わい、おかわりを求める声がたくさん上がりました。

児童たちは「生地がもちもちしていて、こねるのが面白かった」「細く切るのが難しかった」と話しました。

もしものときに備えて

AED応急手当講習

3月20日、市役所で、市職員を対象にAEDの使用方法的な応急手当講習が開催されました。

AED（自動体外式除細動器）とは、電気ショックを与えることで心臓がけいれんした状態を取り除き、心臓のリズムを正常に戻す医療機器です。講習では、負傷者の発見からAEDの使用まで、一連の流れを体験しました。また、負傷者のプライバシー配慮の観点から、三角巾を使って周囲から救助中の様子が見えないようにすることなども学びました。



活発な山県市を目指して 元気な会社づくり講演会開催



3月17日、市役所で、市商工会主催の元気な会社づくり講演会が開催されました。

この講演会は、国や県の中小企業支援制度に対する理解を深めることを目的として、市内の中小企業などを対象に平成29年度から毎年開催されています。今回は経済産業省中部経済産業局などが最新の補助制度について説明を行いました。

市内企業の経営者を中心に43人が参加し、補助制度の内容について活発な質疑が行われました。

市と事業者2社が 地域見守りに関する協定締結



2月22日、市役所公室で、(株)パローホールディングスと(株)旨味屋クラブが、市と地域見守りネットワーク事業の実施に関する協定を締結しました。

この協定は、2社が通常業務中に、市内で高齢者などの異変を発見した際に市へ連絡し、事故などを未然に防ぐことを目的としています。

(株)旨味屋クラブ取締役の三輪晃治郎さんは「各家庭の訪問販売で安否を確認して見守り活動を行いたい」と語りました。

統計調査員高井裕子さんが 岐阜県知事感謝状受賞



統計調査員の高井裕子さんが、令和4年度岐阜県統計功労者表彰の岐阜県知事感謝状を受賞され、2月21日に市長から受賞伝達を受けました。

高井さんは、平成22年9月に国勢調査員として任命されて以来、現在に至るまで合計17回の各種統計調査に従事されました。統計調査で、調査の重要性や調査内容を熟知し、物腰柔らかな対応と粘り強さにより、他の調査員の模範として活動されたことが評され、受賞となりました。

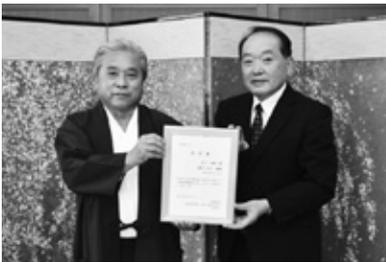
JU岐阜が小学校新生へ 防犯ブザー寄贈



2月20日、市役所公室で、JU岐阜岐阜支部から防犯ブザー200個の寄贈があり、感謝状を贈呈しました。同組合から防犯ブザーを寄贈いただくのは今回で4回目です。令和5年度に市内小学校へ入学する新1年生の安全確保の一助になればとの思いから、防犯ブザーを寄贈いただきました。

JU岐阜岐阜支部長の森密正利さんは「防犯ブザーが子どもたちの防犯に役立てばうれしい」と話しました。

岐阜県重要無形文化財「日本刀」保持者認定 尾川兼國さんが表敬訪問



3月16日、市役所公室で、山県市在住の尾川兼國(本名尾川光敏)さんが、2月に岐阜県重要無形文化財の指定を受けた「日本刀」の保持者として認定されたことを受け、市長を表敬訪問しました。

尾川さんは、自宅の一角にある鍛錬所で刀剣を制作しており、関の刀剣文化を受け継ぎ、その保存・活用・継承に尽力されています。また、打ち寄せる波を表現した刃紋を再現する高い作刀技術を保持されています。尾川さんは「認定は大変名誉なことであり、今後も頑張りたい」と話しました。

誰でも簡単に健康チェック まちの保健室開催



3月14日、市内商業施設で、市民の健康づくりボランティア元気はつらつ応援団と、健康増進に関する連携協定先の明治安田生命保険相互会社、市保健師が「まちの保健室」と題し、心と体の健康づくりの啓発活動を行いました。

当日は、体脂肪率や筋肉量、脳年齢、血管年齢などの測定や、歯科衛生士による歯科チェックなどがありました。参加者は、自身の健康に目を向ける機会となり、健康について保健師に相談する姿も見られました。

令和4年度山県市 教育委員会表彰状授与



3月2日、市役所公室で、令和4年度山県市教育委員会表彰式を行いました。

今年度は、世界卓球大会で男子団体3位となった横谷晟選手や、国民体育大会サッカー成年男子で岐阜県代表として出場し、準優勝を納めた横山智也選手と松崎亮凱選手の他、大桑と歴史的つながりのある福井県一乗谷の小学校との交流により、新たな出会いと学びの創出につながったとして、大桑小学校が表彰されました。